

発信地域指定

発信地域指定は、サービス番号単位の設定となります。着信番号単位での設定はできません。

発信地域指定に設定していないエリアからの着信時は、指定地域外ガイダンスが流れた後、切断します。
ガイダンスの内容については、P372「ガイダンス一覧」を参照してください。



ご注意ください。

発信地域指定コード(発CA)および発信地域細分化コード(発細分化コード)のエリアは、行政区域エリアとは一部異なる場合があります。

PHSのエリア設定は、発信地域指定コード(発CA)での設定となります。移動体CAコードではありません。

発信地域細分化コード(発細分化コード)の設定について

発信地域細分化コード(発細分化コード)は、東京・名古屋・大阪のみです。

対象端末種別は下記のみとなります。対象外の端末種別からは着信されません。

- ・NTT地域(NTT東日本・NTT西日本の一般回線)
- ・NTTCom(NTTコミュニケーションズのひかりライン回線)
- ・NTT地域公衆(公衆電話)

発信地域指定コード(発CA)と発信地域細分化コード(発細分化コード)を同時に設定した場合、発信地域細分化コード(発細分化コード)が優先されます。

例) 発CA:3(東京)と発細分化コード:13101(東京都千代田区)を設定した場合、
13101(東京都千代田区)エリア以外は着信されません。

携帯・自動車電話の発CAコードを変更する場合

自動車・携帯電話のCAコードは移動体CAコードを発CAに設定します。移動体CAコードは1県に1コード(北海道のみ5コード)となりますので、一般電話(固定電話)のような細かなエリア設定はできません。

また、移動体CAコードを設定した場合、一般電話(固定電話)のエリアも同時に設定されますので、ご注意ください。

例) 神奈川県の場合

CAコード	CA名(料金区域)	移動体CAコード
44000	川崎	45000
45000※	横浜	
46000	小田原	
46200	厚木	
46300	平塚	
46600	藤沢	
46800	横須賀	

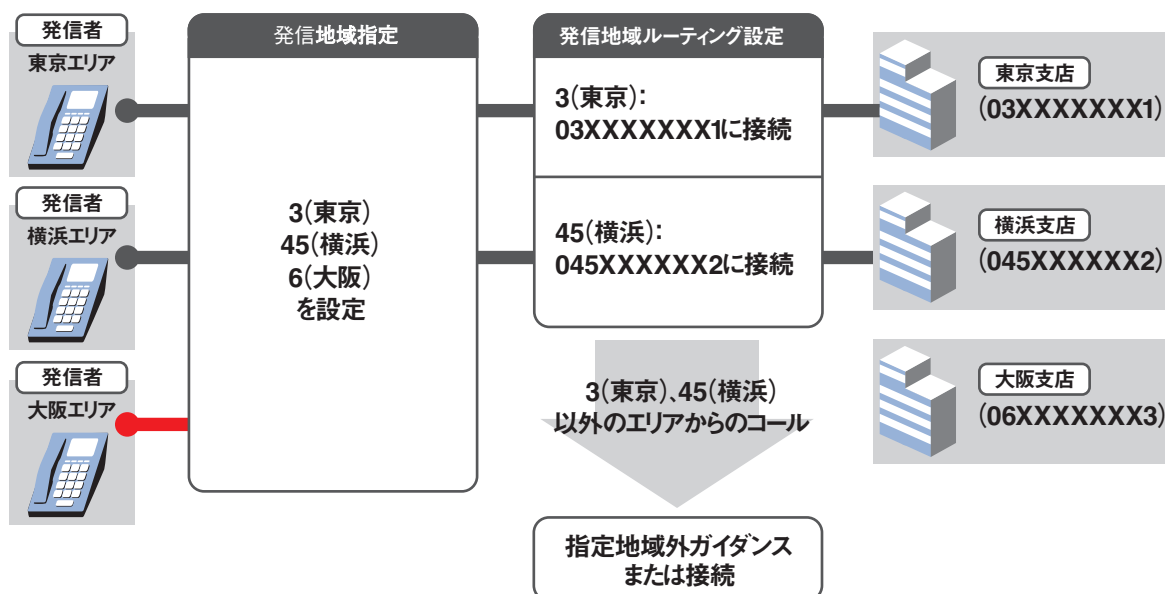
45000を設定した場合、
神奈川県全域の携帯・自動車電話と
横浜エリアの一般電話(固定電話)か
ら着信されます。

「発信地域指定コード(発CA)および発信地域細分化コード(発細分化コード)はP354を参照してください。

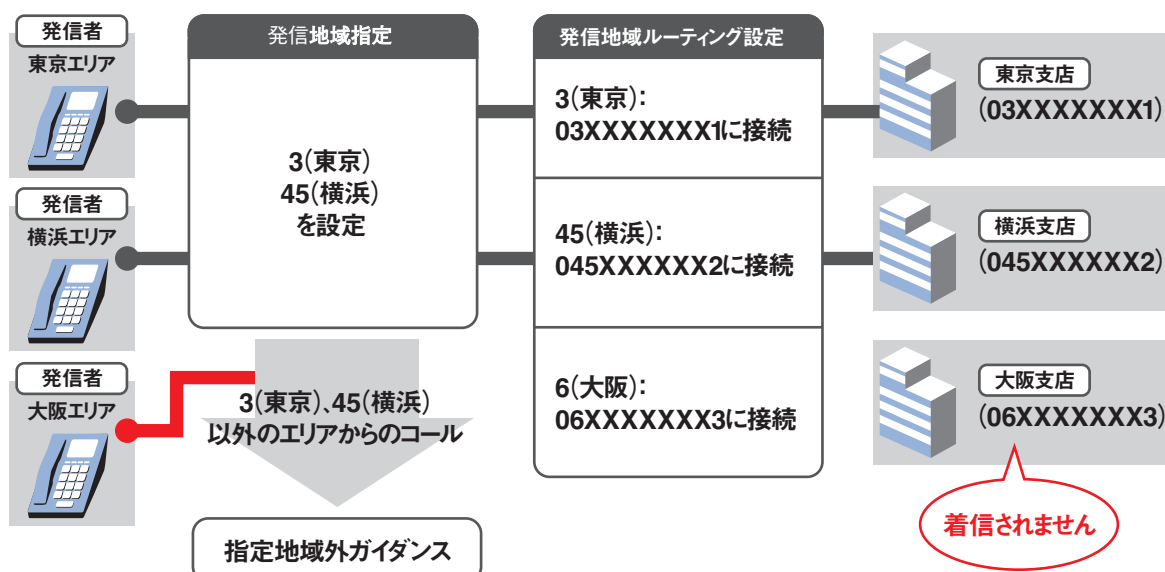
発信地域指定と発信地域ルーティング設定の違いについて

「9.発信地域指定」	サービス番号に接続できるエリアを設定できます。設定していないエリアからは着信されません。
「12.発信地域ルーティング設定」	サービス番号に接続したコールの振分先をエリアごとに設定できます。振り分け先を指定するエリアは、必ず発信地域指定で設定しておく必要があります。 (発信地域指定で設定しているエリアのみ、振り分けができます)

例1)



例2)



9-1 発信地域指定を変更する

◆次の変更例で、発信地域指定を変更する方法について説明します。

変更例

サービス番号「0120XXXXXX」の発信地域指定を次のように変更します。

発信地域指定コード(発CA) 44(川崎)、45(横浜)を追加

画面を表示するには

カスコン業務メニュー

02. サービス設定 

02. 基本設定 (変更)

01. サービス番号設定変更 

サービス番号設定変更業務

B 保存 閉じる ヘルプ

サービス番号 : 0120XXXXXX 検索

契約者名 : NTTコミュニケーションズ株式会社

更新年月日 : 2015/05/21 15:56:01

<発信地域指定>

項番	発CA	項番	発CA	項番	発CA	項番	発CA	項番	発CA
1	3	2	44	3	45	4		5	
6		7		8		9		10	
11		12		13		14		15	

1

<発信地域指定>に必要な項目を入力します。(画面A)

●発CAの項番2に「44」、項番3に「45」と入力します。

2

「保存」ボタンをクリックします。(画面B)

➡「正常に終了しました。」メッセージが表示され、発信地域指定が更新されます。



ご注意 必ずお読みください。

- 発信地域指定コード(発CA)および発信地域細分化コード(発細分化コード)のエリアは、行政地域エリアとは一部異なる場合があります。
- 発信地域細分化コード(発細分化コード)は東京・名古屋・大阪のみです。また、対象端末種別は下記のみとなります。対象外の端末種別からは着信されません。
 - ・NTT地域(NTT東日本・NTT西日本の一般回線)
 - ・NTTCom(NTTコミュニケーションズのひかりライン回線)
 - ・NTT地域公衆(公衆電話)
- 発信地域指定コード(発CA)と発信地域細分化コード(発細分化コード)を同時に設定した場合、発信地域細分化コード(発細分化コード)が優先されます。

例) 発CA:3(東京)と発細分化コード:13101(東京都千代田区)を設定した場合、
13101(東京都千代田区)エリア以外は着信されません。
- 050(IP電話)の設定はできません。

補足

- 発信地域指定コード(発CA)は1～5桁で50コードまで設定できます。
- 発信地域細分化コード(発細分化コード)は5桁または8桁で100コードまで設定できます。

9-2 発信地域指定を照会する

◆ 次の照会例で、発信地域指定の設定内容を照会する方法について説明します。

照会例 サービス番号「0120XXXXXX」の発信地域指定を照会します。

画面を表示するには

カスコン業務メニュー

02. サービス設定 

01. 基本設定（照会）

01. サービス番号設定照会 

サービス番号設定照会業務

閉じる ヘルプ

サービス番号 : 0120XXXXXX 検索

契約者名 : NTTコミュニケーションズ株式会社

更新年月日 : 2016/01/15 14:43:09

<発信地域指定>

項番	発CA	項番	発CA	項番	発CA	項番	発CA	項番	発CA
1	3	2	44	3	45	4		5	
6		7		8		9		10	
11		12		13		14		15	

1

必要な項目を確認します。

！ ご注意 必ずお読みください。

- 発信地域指定コード(発CA)および発信地域細分化コード(発細分化コード)のエリアは、行政地域エリアとは一部異なる場合があります。
- 発信地域細分化コード(発細分化コード)は東京・名古屋・大阪のみです。また、対象端末種別は下記のみとなります。対象外の端末種別からは着信されません。
 - ・ NTT地域 (NTT東日本・NTT西日本の一般回線)
 - ・ NTTCom (NTTコミュニケーションズのひかりライン回線)
 - ・ NTT地域公衆 (公衆電話)
- 発信地域指定コード(発CA)と発信地域細分化コード(発細分化コード)を同時に設定した場合、発信地域細分化コード(発細分化コード)が優先されます。

例) 発CA:3(東京)と発細分化コード:13101(東京都千代田区)を設定した場合、
13101(東京都千代田区)エリア以外は着信されません。
- 050 (IP電話)の設定はできません。